

## 2017年度バザー収支計算書

項 目	収 入	支 出	剰 余 金
バザー協力金	4,950,000		4,950,000
泉 会	5,871,802	2,435,909	3,435,893
父 の 会	1,591,650	1,289,625	302,025
ラファエラ・マリア会	50,000		50,000
白 水 会	65,021		65,021
す み れ 会	10,000		10,000
A c t 2 1	1,400		1,400
ご 寄 付	100,000		100,000
合 計	12,639,873	3,725,534	8,914,339

\*ラファエラ・マリア会・白水会・すみれ会・Act21からは、売り上げの一部を泉会にご寄付頂いています。各団体の収支全体は本表に算入されていません。

### 剰余金使途

	送 金 ・ 寄 付 先	金 額	目 的
A. 清泉外	1. ベトナム聖心侍女修道会の「LOVE SCHOOL」支援	400,000	援助活動
	2. ラファエラ東ティモール募金 (奨学生)	500,000	奨学生支援
	3. ラファエラ東ティモール募金	300,000	援助活動
	4. インド支援	400,000	特殊学校援助
	5. フィリピン姉妹校支援	300,000	教育活動援助
	6. ちいさいおうち	200,000	援助
	7. 世界の子供にワクチンを	20,000	援助
	* 銀行振込手数料	2,284	
	小 計 (1)	2,122,284	
B. 泉 会	1. 内外緊急義援金	20,000	援助
	2. 生徒会活動支援基金	1,500,000	援助
	3. 震災等安全対策基金	500,000	安全対策
	小 計 (2)	2,020,000	
C. 清 泉	教育環境等改善資金 (3)	4,422,055	
D. 泉 会	次年度バザー準備金 (4)	350,000	
	合 計 (1) ~ (4)	8,914,339	

# 活動報告

## I. 泉会

### A. 清泉外

#### 1. ベトナムの聖心侍女修道会の「LOVE SCHOOL」支援 \* 400,000円

～ラブスクール校長 Sr. フェンからのメッセージ～

ベトナムにおける聖心侍女修道会は、低所得で公立学校に通うことができない家庭の子どもたちのために、無償の小学校を運営しています。

昨年、泉会からの寄付は、経済的に余裕がないため学校のテキストを購入できない子ども達のテキスト代や、毎週水曜日と金曜日には、栄養価が高く温かい食事を提供しておりますが、その費用として、また、生徒達のための事故保険（加入必須で、年払いの保険です）の代金の支払いにも使わせていただきました。政府その他からの援助が少ない中で学校運営は大変厳しいため、泉会からの寄付金が大いに役立っており、心より感謝申し上げます。

#### 2. ラファエラ東ティモール募金（奨学生支援） \* 500,000円

#### 3. ラファエラ東ティモール募金 \* 300,000円

～聖心侍女修道会 東ティモール修道院 シスター中村からのお手紙より抜粋～

今年も、皆様方の貴重なお働きの実りであるバザーの収益金を東ティモールでの私たちの活動のためにお送りくださり、心より御礼申し上げます。

私たちの当地での活動はさまざまな分野に及びますが、国造りに最も必要な人材育成を常に最大の優先課題と考えております。東ティモールは独立直前にインフラの7割をインドネシア軍に破壊されてしまったため、今日に至るまで国の予算の6割以上がインフラ整備に充てられ、教育や保健の分野は常に予算不足に苦しんでいます。2003年に本会が当地に設立されて以来、教育分野での目覚ましい進展はほとんど見受けられません。

そうした中、ディリでは、当方主催の語学教育などの受講者や、使徒活動の協力者の中から、困窮家庭の子女で、勤勉な若者を選び、奨学金を供与しています。今年も50名が受給されています。この支援金は、全額泉会からのご寄付で賄われています。こうした奨学生だった人々の中から、現在、議会の通訳、弁護士事務所勤務、公・私立の学校の教員などを輩出しています。どのようなプロジェクトよりも、国造りに有効なのがこうした人材育成です。私たちがこの援助を毎年可能にしてくださっている泉会の皆様に心から感謝申し上げます理由はそこにあります。そして、これからもこの支援を続け、貧富の差が年ごとに大きくなっている東ティモールで、貧困家庭出身の有為な青年たちの将来のために働き続けたいと思っております。

皆様からのご支援は、この奨学金の他にも、教育、開発、人権の諸分野での活動に使わせていただいております。

#### 4. インド支援 \* 400,000円

インドでは現在、4つの施設で泉会からの寄付金が大切に使われています。その内容について、インドのシスターからご報告をいただきました。

コチでは、知的障害を持つ子ども達のための学校があり、言語療法、理学療法、運動訓練を受けるのに経済的な支援が必要な生徒が多くいます。また、これとは別に、貧困地域にも子ども達のための学校があります。これらの貧しい家庭の子ども達への経済的な支援や、学校の職員の給料、子ども達のためのおもちゃ、庭の維持管理などに泉会からの寄付金が使われています。

また、ムンバイにはスラムの近くに保育所があり、こちらで提供される栄養価の高い食事のために泉会からの寄付金が使われています。その他、別の施設では建物が築60年と大変古く、塗装などの修繕が必要になり、こちらにも泉会からの寄付金が役立てられました。

泉会からの支援は、現地で活動されているシスター方から大変感謝されています。

#### 5. フィリピン支援

\* 300,000円

聖心侍女修道会は、マニラ首都圏ケソンのカインギン、ルソン島中部のレガスピ、南部のナガなどに幼稚園、小学校を設立し、子供たちの教育に当たっています。泉会からの寄付金は教材や給食費に使われています。栄養が充分でない子供たちのために、鶏肉の入ったおかゆなどを提供しています。子供たちの中にはそれがその日の唯一の食事になるものが多く、大変喜ばれています。

#### 6. ちいさいおうち

\* 200,000円

「ちいさいおうち」(東京都港区)は、2002年に開設した「病気の子どもと家族のための滞在施設」で、NPOファミリーハウスの施設の一つです。小児がんや慢性心疾患などの病児は、全国で10万人以上います。地元で先端医療が受けられない場合、上京して高度専門病院で治療を受けます。治療中に家族が滞在するのが「ちいさいおうち」のような施設で、「東京での我が家」として、急な来室にも対応できるように生活に必要なものを整えています。清泉の姉妹校卒業生数名が、この施設をご利用されるご家族が安心して滞在できるよう、力を合わせて活動しています。

泉会からの寄付は、施設を利用するご家族のために大切に使われています。

#### 7. 「世界の子どもにワクチンを」支援

\* 20,000円

予防可能な感染症で命を落とす子供たちが多くいる国や地域に、ワクチンを贈る活動を行っている国際支援団体です。JVCが設立された1994年には、ワクチンで予防可能な感染症で命を落とす子どもの数が1日8000人もいました。今ではその数が半数になり、改善されてはいますが、いまだ一日約4000人もの子供が亡くなっており、継続的な支援を必要としています。

### B. 泉会

#### ① 内外緊急義援金

20,000円

国内外で甚大な災害が起きた際に、寄付金として使用します。

昨年度残金 186,968円

バザー剰余金 20,000円

---

206,968円

② 生徒会活動支援基金 1,500,000円

生徒のクラブ活動を応援するために設けられた基金です。

今年度も各クラブに活動資金として1万円ずつ援助します。

また、クラブが関東大会や全国大会に出場した場合などに、経費の一部を補助します。

昨年度残金 1,955,121円

バザー剰余金 1,500,000円

---

3,455,121円

③ 震災等安全対策基金 500,000円

阪神・淡路大震災を契機に、清泉が被災した場合に備え、46期生卒業記念として寄付された資金と白水会拠出金を原資として、毎年、泉会バザー剰余金の一部、さらに在校生保護者からいただく負担金を加え運営しています。現在食料・飲料水や毛布・寝袋等を備蓄しています。

また、被災した時の当面の立ち上がり資金としても利用する可能性があります。

昨年度残金 12,466,270円

バザー剰余金 500,000円

---

12,966,270円

C. 学校（清泉女学院中学高等学校）への寄付

教育環境等改善資金 4,422,055円

教育環境の向上・改善費用の一部となります。

今年度は建物の維持管理とICT教育の充実のために使用されます。

また、宗教研究合宿経費の一部も援助しています。

D. 泉会（次年度バザー準備金） 350,000円

次年度バザーのための、各学年やサークルで製作する手芸品の材料購入費として使用します。今後、一般会計からの仮払いは発生しません。

## II. 参加団体

### (1) 父の会

売上利益は全額を泉会に納めさせていただきました。

当日は、たくさんの皆様にご来店いただきました。今年も約200名のお父様方にご参加いただき例年のように各売り場で様々な工夫や連携があり、完売しようというお父様方の意気込みが感じられ講堂前のテント村は大変賑やかでした。

焼き鳥、焼きそば、たこ焼き、綿菓子、フランクフルトソーセージ、東北復興支援物販、スーパーボール&ヨーヨー、駄菓子&バナナチョコ、合計8店の各売り場で用意したものはほぼ完売いたしました。

お父様方にとっても、バザーにご参加いただいたことが楽しい思い出となり、相互の親睦を深める一助になったと確信しております。

ご来店ご購入いただきました皆様、準備・設営・連絡調整等にご尽力いただきました教職員の先生方、泉会の役員の皆様、各売り場の正副代表・出納担当をはじめ当日ご参加いただきましたお父様方、ワンコインカンパにご協力いただきました皆様、全ての方に心より感謝申し上げます。

どうもありがとうございました。

## (2) 福祉委員会

生徒作成の手芸品、フェアトレード商品、パン缶、WWF商品の販売によって得たお金は全額東ティモールの支援に使われます。

今年度は総額74,939円となりました。

## (3) ラファエラ・マリア会

バザー総収益	175,035円
準備諸経費	77,380円
泉会へ	50,000円
ラファエラ・マリア会へ	47,655円

今年も同窓生のご寄付の品によるびっくり市及び15団体の出店により、上記の収益がありました事をご報告いたします。全体としては僅かではありますが増収増益となりました。

また、出店団体は昨年より1団体多く参加していただくことができましたが、個々の団体の多くは売上げが減少してしまいました。ラファエラ・マリア会が出店団体のお役に立てることができるよう、来年は今年の経験を踏まえて準備をしたいと思えます。

学校の皆様、泉会の皆様、同窓生の皆様のご協力を得て無事終えることができました事、御礼申し上げます。

## (4) 白水会

バザー総収益	650,211円
泉会へ 剰余金の10%	65,021円
白水会会計へ	585,190円

白水会会員の皆様方からのご寄付、ご協力により、今年も手芸品、雑貨等の販売をさせていただきました。

今年から新たに、くまのぬいぐるみ制服チームが加わり、大盛況のうちに終了することができました。心より感謝申し上げます。

泉会でご活躍されたお母様方は、卒業後は白水会の活動にご参加いただきまして、学年を越えて白水会の輪が広がりつつあります。

また、新入生向けのお弁当袋販売も軌道にのり、9月からは、それと共に来年度バザーに向けて活動してまいります。

(5) すみれ会 (手話交流会)

項目	売上	支出	収益	摘要
手作品	47,750円	33,425	14,325	材料代70%支払
不用品	16,200円	8,100	8,100	50%支払
寄付	10,650円		10,650	
泉会へ		10,000円	▲10,000	
運搬費		3,000円	▲3,000	
合計	74,600円	54,525円	20,075	

純益	20,075円
----	---------

本年もバザーに参加させて頂きましてありがとうございました。

会員も高齢となり手作品の作成もだんだんと難しくなりました。

聴覚障害者が連絡をとりあい、年齢・学校を超えて驚くほど多く集まり、情報の交換や旧交をあたためあったり、お買い物を楽しんだり、一年に一度のこの機会をととても楽しみにさせて頂いています。

現在の活動は「月2回の例会」「社会見学」「情報の交換」等、よりよき社会人となるため、お互い助け合っています。

(6) Act 21

日本、アジア、アフリカ等の子ども達を教育・医療等の面からサポートしている団体に寄付しています。

寄付先：チェルノブイリ子ども基金

ケニヤの子ども達に給食を送る会

日本カトリック信徒宣教者会 (JLMM)

東ティモール医療友の会 (AFMET)

アジア教育支援の会

かものはしプロジェクト

聖母の小さな学校を支える会

未来の福島こども基金

いわて学び希望基金

上記の支援先に送るお金を作るため、教会 (片瀬カトリック教会・藤沢カトリック教会・高輪カトリック教会) や学校 (聖心女子学院高等科、聖心女子専門学校、女子学院) のバザーに参加しています。